



ひの市民活動団体連絡会ニュース

38号 平成27年5月15日

発行：ひの市民活動団体連絡会
会長 湯口 裕
編集：広報部会
〒191-0012 日野市日野 1369-27
TEL/FAX 042-581-6144
E-mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
URL: <http://hinokatsuren.sakura.ne.jp/index>

ひの市民活動団体連絡会 第21回通常総会開催

平成27年4月19日（日）14時～15時30分

新しい年度を迎えて 今年を飛躍の年に



ひの市民活動団体連絡会会長 湯口 裕

平成15年4月に産声をあげたひの市民活動団体連絡会は今年13年目に入りました。私たちの日野を住みよく働きやすいまち、そして楽しいまちにしてゆくためには市民自らの力が必要です。13年前にはまだ「まちづくりは行政の責任」と考える人が沢山おりましたが、行政も財政難の時代となり市民が直接まちづくりに参画することへの期待は、かつてないほど高まっています。

このような社会情勢の中で、当連絡会は加盟団体相互の親睦、切磋琢磨のための集まりから、個々の団体が活動し易い環境作り、新しい団体の立上げ支援など、市民活動中間支援組織としての役割を期待されています。

市内で活動する市民活動団体は数百にのぼり、各団体がそれぞれの想いを持って住みよいまちづくりに努めています。しかし大半の団体は構成員が2、30名以下の小規模な団体であり、その活動が市民に知られる機会は少ないのが現状です。それぞれの団体の活動が多く市民の目に触れ、市民の理解と協力が得られることが必要です。

団体単独の力では限界がありますが、多くの団体が連携協力して取り組めば効果的です。様々な団体の力を結集する核となって、個々の団体の取組みを支援するのが中間支援組織としての連絡会の役割です。

連絡会はこれから次のようなことに力を入れて行きたいと思っています。

- 多くの団体の共通課題についての勉強会
- 共に活動する仲間集めの場の提供
- 団体運営に役立つ情報やノウハウの提供
- まちづくり活動に対する市民への支援呼びかけ



特にまちづくり活動への市民の方々の支援を得ることは重要です。そのためには連絡会自身が信頼できる組織であることを目に見える形にする必要があります。そこで、連絡会をNPO法人化して、全ての人々に対して透明性を持たせた組織運営（注）をしようとしています。

NPO法人化については既に東京都への申請を済ませましたが、予想より早く4月30日に東京都より認証書が到着しました。今年度は連絡会にとって新たな飛躍の年となるでしょう。皆さんの益々のご支援とご協力をお願いします。

注：NPO法人は東京都から認証を得た組織で、毎年事業報告を東京都に提出し、それを誰でも閲覧することができます。

ひの市民活動団体連絡会『第21回通常総会』開催報告



佐藤さん

平成27年4月19日(日)14時よりひの市民活動支援センター2階会議室で「第21回通常総会」が開催され、NPO法人子どもへのまなざしの藤浪さんの司会のもと湯口会長の挨拶とご来賓の日野市企画部大島部長のご挨拶に続き、地域協働課の熊澤課長ほか出席課員の紹介、さらに小田原衆議院議員の杉本秘書が紹介されました。



大島企画部長

事務局より加盟33団体中31団体(出席19団体、委任状12団体)で総会の成立が報告され、NPO法人「日野人・援農の会」の佐藤さんを議長に選出し、議事に入りました。



藤浪さん

第1号議案の平成26年度の活動報告、会計報告、監査報告、第2号議案の平成27年度活動計画案、予算案については、予め全会員団体に配信された資料に基づきそれぞれの項目別に担当部会長より説明され、質疑応答の後に異議なく全員の承認で決定されました。総会で出された質問・意見は他市の中間支援組織との交流の現況確認、支援センター施設・設備の貸出検討中断理由の確認、連絡会設立後の経過年数と総会開催回数との関連確認の3件でした。次に3号議案の役員改選について、湯口会長から資料に基づき、今回の役員任期は連絡会のNPO法人化までの約3カ月間であること、役員の候補者は、現任者またはその団体の後任者となったことにより、信任投票により選出されることが説明された。投票の結果候補者全員の信任が得られたことが議長より報告され、全会一致で承認可決されました。



懇親会で、さらに交流を深めました

さらに報告議題のNPO法人化進捗状況について、資料に基づき溝口事務局長から、東京都に対する資料提出及び修正等の全ての作業が完了し、閲覧期間を経た後NPO認証通知が6月には届く見込みであることが報告された。総会終了後の懇親会には、16団体22名および行政の方々にも参加して頂き、和やかな交流の場となりました。連絡会がNPO法人化後も市民活動団体の中間支援組織として、さらなる飛躍を目指そうと誓い合った総会でした。

(追：NPO認証書は予想より早く4月30日に到着)

会計報告

平成26年度決算

収入			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
会費収入		122,000	122,000
受託収入	1,500,000	160,714	1,660,714
管理協力金		65,208	65,208
イベント収入		125,440	125,440
雑収入		37,025	37,025
ファンド基金		29,016	29,016
26年後合計	1,500,000	539,403	2,039,403
前年度繰越金		882,026	882,026
総計	1,500,000	1,421,429	2,921,429

支出			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
支援センター管理運営人件費	1,054,189	367,770	1,421,959
支援センター管理運営諸経費	325,888	279,687	605,498
支援センター祭り開催費	14,000	74,086	88,086
市民フェア等開催費	6,000	62,331	68,331
加盟団体交流費		30,395	30,395
広報関係費	100,000	91,315	191,315
26年度合計	1,500,000	905,584	2,405,584
次年度繰越金	0	515,845	515,845
総計	1,500,000	1,421,429	2,921,429

平成27年度予算

収入			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
会費収入		180,000	180,000
受託収入	2,000,000	160,000	2,160,000
管理協力金		146,000	146,000
イベント収入		120,000	120,000
雑収入		14,000	14,000
ファンド基金		30,000	30,000
27年度合計	2,000,000	650,000	2,650,000
前年度繰越金		515,845	515,845
総計	2,000,000	1,165,845	3,165,845

支出			
項目	市受託対象	受託対象外	合計
支援センター管理運営人件費	1,620,000	60,000	1,680,000
支援センター管理運営諸経費	260,000	240,000	500,000
セミナー等開催費		50,000	50,000
支援センターまつり開催費		90,000	90,000
市民フェア等開催費		46,000	46,000
加盟団体交流費		50,000	50,000
広報関係費	120,000	44,000	164,000
交流センター共益費		110,000	110,000
27年度合計	2,000,000	690,000	2,690,000
次年度繰越金	0	475,845	475,845
総計	2,000,000	1,165,845	3,165,845

加盟団体紹介

NPO法人Rapport（ラポール）

ラポールはフランス語で架け橋の意味です。人と人とのつながりを大切に育み、女性の再就職支援事業や、資格取得支援、創業支援など女性の多様な働き方へのチャレンジ支援を行っています。

《H27年度の事業計画》

※再就職支援：PC講座

初心者からPC検定受験対策までの講座



※創業支援：リンパケアリスト養成講座

《エステのリンパドレナージュの技術をCIDE SCO認定講師から学ぶ》 自宅サロンオープンまでフォローアップ！大好評！！創業者20名



〈問い合わせ先〉

Rapport2010@gmail.com

「ひの市民活動団体連絡会」に加盟しませんか！

～市民活動に参加して、体験して、仲間と一緒に楽しみましょう～



50人収容可能な講座室
その他小会議室等もあり

使い勝手の良い
印刷機、コピー機



加盟すると ①コピー機・印刷機が無料（ただし用紙は持込）②会議室利用も無料 ③安価で事務所利用可（共益費12,000円/年のみ）④連絡会ホームページで自団体紹介を展開できるなどのメリットがあります。

また他分野で活動している仲間との出会いは、新たな発見の糸口になりますよ！

お問い合わせはひの市民活動支援センターへ

☎ 042-581-6144

URL://hinokaturen.sakura.ne.jp/index.

連絡会 事業報告

“まち活”を終えて

個々の市民活動団体は共通の悩みとして、①後継者をどう育てるか、②適切な活動場所をどう確保するか、③活動資金の確保といった問題を抱えている。今回は、このうち①後継者の育成＝人の確保に焦点を当て、“まち活”イベントを開催しました。

当日は17団体が参加、22名のお客様（市民）にご来場いただき、それぞれのブースで活動内容を紹介し、またメインステージでは、参加全団体が自己PRの3分間スピーチを行ない、会場も熱気に包まれました。

来場者が目標には届かなかったものの、結果として新たな活動の仲間を得ることができたのは4団体であり、初めての試みとしては相応の成果を得ることができたと考えています。

一方、参加団体間同士の紹介や意見交換などの交流が活発に行われ、思いのほか相乗効果を得ることができ、各団体とも参加して良かったとの回答を頂くことができました。

ひの市民活動団体連絡会は、今回の「まち活」を一つのステップとして他の課題にもチャレンジし、市民活動活性化の一翼を担っていきたいと考えています。

皆さんお互いに手を取り合い助け合って、市民活動を推進して参りましょう！！



事務局の二人で明るく対応

10年後、20年後の日野市にワクワクします！

日野市 企画部 地域協働課長 熊澤 修

日頃から、ひの市民活動団体連絡会におかれましては、市民活動の支援にご尽力いただき心からお礼申し上げます。また、平成27年度にはNPO法人化に向け取り組むことで、今後より市民主体のまちづくりが進むことを期待しています。

さて、地域協働課では、『地域』を捉えるときに、『地域は縦割りではない』ということ念頭に置いて考えるようにしています。高齢者のこと、子どものこと、環境のこと、健康のこと等、これらを単体で考えているのは、複雑多岐に絡み合っている地域の課題は解決しないと思っており、地域の多様な力がつながりを持てるように努めています。しかもできるだけ『楽しい実践』になるように。

昨年度から、自治会長を中心にした懇談の場である地域懇談会を、地域で活躍する様々な方が参加できる懇談会にリニューアルし、年2回開催することとしました。市民活動団体連絡会の方々にも参加していただき、初めての試みでありましたが上々の一歩を踏み出すことが出来ました。

地域懇談会は2日/365日でしかありません。大切なのは、情報共有、役割分担、連携が継続的（必要な時）に図られることだと思っています。本来持っている日野市民の力、日野の地域資源の力は、可能性の宝庫だと思っています。

その力を引き出し、掛け合わせていきたい！

10年後、20年後を考えると、どんなまちになっているかワクワクしてきます。



熊澤地域協働課長(左)と担当の大村さん

事務局便り

支援センター窓口の拡大

いろいろな市民活動相談にお応えするため

支援センターの窓口開設時間を4月1日から

10時～17時に拡大しました。

新年度も溝口・高橋が皆様をお待ちしています。

★支援センター一斉清掃

5月24日(日)9:00～

終了次第、懇親会を行います。

皆様の交流の場として活用しましょう！

★わんも公園の一斉除草

6月7日(日)9:00～

作業は午前中。終了次第解散です。

たくさんの方の参加を待ってます。

NPO法人化へ スイッチオン！

東京都からの認証書がすでに到着しました。

法人化への手続きは予定より1か月早く5月連休明けには、法務局への設立登記申請が出来る運びとなりました。

皆様のご協力をお願いします。

編集 後記

家事代行・用事代行ハウスワークサービスという屋号で業務を始めて5年。

(便利屋という言葉が嫌いなのですが) NPO 法人化し都庁で申請の際「便利屋じゃ不認証」とまで言われては5年。毎日馬車馬の如く走っています。NPO 法人になって「地蔵宅配便」のモデル事業に参画し立ち上げたものの「NPO＝ボランティア＝タダ」などと言われ まだまだ毎日が勉強の日々です。

市民活動として位置づけ、いろいろな事をされている方々と知り合い、情報交換させていただいております。これからも、介護保険で対応できないことで、社会貢献をできれば良いかと考えています。

NPO 法人おまかせハウスワーク 野口真宏

